

令和6年能登半島地震津波に関する調査報告会

主催：公益社団法人土木学会・海岸工学委員会
共催：金沢大学，北陸先端科学技術大学院大学，金沢工業大学

日時：2024年1月27日（土）14時～17時
開催形式：対面（定員180名）・オンライン（定員980名）のハイブリッド開催
対面会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 金沢駅西口ホール3B（金沢市広岡2-13-33）
<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-kanazawa-nishiguchi/>

調査報告会プログラム

司会進行 越村 俊一 教授（東北大学）

- 開催挨拶（5分）[14:00-14:05]
森 信人 海岸工学委員会・委員長
- R6年能登半島地震の概要（20分）[14:05-14:25]
平松 良浩 教授（金沢大学）
- 津波被害に関する現地調査報告（90分）[14:25-15:55]
石川県
能登町：有田 守 准教授（金沢工業大学）
珠洲市：郷右近 英臣 准教授（北陸先端科学技術大学院大学）
輪島市・志賀町：宮下 卓也 助教（京都大学）
七尾市：二宮 順一 准教授（金沢大学）
富山県 呉 修一 准教授（富山県立大学）
新潟県 鶴崎 賢一 准教授（群馬大学）
- 津波の解明に向けた数値解析に関するサマリー（15分）[15:55-16:10]
論点
 - R6年能登半島地震津波の波源の特性，能登半島・富山湾の地形特性
 - 波源からの津波エネルギー指向性と津波高の分布
 - 地震断層破壊以外の要因による津波の可能性討論者
越村 俊一 教授（東北大学）（進行）
馬場 俊孝 教授（徳島大学）
有川 太郎 教授（中央大学）
柳澤 英明 准教授（東北学院大学）
- 港湾・海岸の被害について（30分）[16:10-16:40]

国土交通省水管理・国土保全局，海岸室，海洋開発企画官 足立 文玄
国土交通省港湾局，海岸・防災課，海岸・防災企画調整官 新村 貴史
水産庁，漁港漁場整備部，防災漁村課，課長補佐 片石 圭介

6. 社会的対応についての分析・調査報告（10分）[16:40-16:50]
マス・エリック准教授（東北大学）
7. 質疑（5分）[16:50-16:55]
8. まとめ（5分）[16:55-17:00]
由比 政年 教授（金沢大学）

※終了後に必要に応じて取材対応いたします。